

News Release

2022.10.18

シノケンアセットマネジメント・インドネシア インドネシア巨大商業施設のアセット・アドバイザーに就任

シノケングループ（以下、「当社グループ」といいます。）は、インドネシア現地法人である、PT. Shinoken Asset Management Indonesia（以下、「SAMI」といいます。）が、阪急阪神不動産株式会社（本社：大阪府）、株式会社海外交通・都市開発事業支援機構（本社：東京都）、及び PT. Agung Podomoro Land Tbk（本社：ジャカルタ）の3社にて組織した合弁会社（以下、「本件合弁会社」といいます。）による、インドネシアの首都ジャカルタにある巨大商業施設：「セントラルパークモール」を取得した取引（以下、「本件取引」といいます。）において、本邦企業側のファイナンシャルアドバイザーとしてサポートし、今後も継続して、本件合弁会社のアセット・アドバイザーとして、助言業務を提供することになりましたのでお知らせいたします。

インドネシアを代表するアジア屈指の巨大商業施設「セントラルパークモール」

今般、SAMI がアセット・アドバイザーに就任したセントラルパークモールは、西ジャカルタのポドモロシティという東南アジア最大規模のタウンシップの一施設で、テナント数：約 300 テナント、賃貸可能面積：約 120,000 m²、年間来場者数：約 5,000 万人という、インドネシアでトップクラスの集客力を誇るアジア屈指の巨大商業施設です。



SAMI は、インドネシアで唯一の外資系不動産ファンド運営会社として、世界中の投資家がインドネシア不動産に投資できる機会を提供しております。本件取引においては、不動産ファンドを介さずに、本邦企業側のファイナンシャルアドバイザーとして SAMI が有するインドネシア不動産・金融ノウハウを提供し、

インドネシア不動産への投資機会を直接提供する形となりました。

本件取引は、関西エリアを中心に多くの商業施設の開発・運営等の実績がある阪急阪神不動産株式会社、本邦企業の海外市場への参入促進等を目的に設立された官民ファンドである株式会社海外交通・都市開発事業支援機構、及びインドネシアの大手不動産会社である PT. Agung Podomoro Land Tbk の 3 社の合併事業として、各社のノウハウ・知見を活用して、本モールの運営を行っていくこととなりますが、SAMI はそのアセット・アドバイザーとして就任、継続して参画し本事業をサポートいたします。

成長期待が高まるインドネシアで着実に事業を拡大

インドネシアは、2030 年には GDP が世界第 5 位となることが予想される^{*1}など、高い経済成長が期待されております。SAMI は、今回扱ったセントラルパークモールのような複合商業施設の他、物流施設から再生エネルギー関連インフラに至るまで、様々な物件に関わる不動産ファンドやアドバイザリー業務等のサービスを提供しております。ウィズコロナへの移行に伴って多くの人々の往来や国内外からの投資が回復してきており、新たな物件情報や、インドネシアに投資したい、という日系含む数多くの外国企業からの引き合いも増えてきております。これらのビジネス機会をしっかり捉え、引き続き当社グループの企業価値向上に取り組んでまいります。



*1：購買力平価ベース（PwC 調査レポート「2050 年の世界」2017）

シノケンは、お客様の生涯を通じて価値を提供する
「世界中のあらゆる世代のライフサポートカンパニー」をビジョンに掲げ、
人生 100 年時代を見据えた資産づくり、ゼネコン、エネルギー、高齢者・障がい者施設の
運営、不動産ファンドと、国内外で幅広く事業展開しています。
また、REaaS^{*}で人々や社会の課題を解決してまいります。

* "Real Estate as a Service" (不動産のサービス化)

本リリースに関するお問い合わせ先

株式会社シノケングループ グループ広報 IR 室

東京都港区浜松町 2 丁目 3 番 1 号 TEL 03-5777-0089 FAX 03-5777-0108
WEB <https://www.shinoken.co.jp/> MAIL skg_pr@shinoken.co.jp